

□議員名：水津 治

1 農業施策について

論点	食料・農業・農村基本計画が国にあるが、本市の食料・農業・農村振興プランの策定状況を問う。
回答	本市では現在計画は策定していない。地域農業の担い手不足等、農業が抱えている課題については、第二次総合計画に目標を掲げ、取り組んでいる。プランの策定は農業の未来の姿を想像する中で、他市の状況も参考にしながら計画の必要性について研究したいと考える。

論点	本市独自の魅力ある農業施策の検討状況を問う。
回答	まず本市の農業及び水産業の実情を把握し、どういったことができるのか、それを検討していく必要があるかと思う。その上で本市独自の魅力ある農業施策を見つけたい。

論点	国・県の補助事業に上乗せを検討できないか。
回答	国・県の事業等で対応できない産地や地域の特色を生かした独自の施策を推進するものと考えている。必要性は十分感じており、まずは喫緊の課題で次世代を担う農業者の確保と営農定着のための事業の創設ができないか考えている。

論点	持続可能な農業・農村の実現に向けて、農地の集積・集約化を積極的に進めるべきと考えるがどうか。
回答	国の方針に従い持続可能な力強い農業構造を実現していくため、地域農業のあり方について議論を進め、認定農業者等の経営体への農地の利用集積を推進していくこととしており、人と農地の問題を解決するための未来の設計図となる「人・農地プラン」の作成を推進する。

論点	国の有害鳥獣防護柵事業の取組状況を聞く。
----	----------------------

回答	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会では、平成26年度以降、当事業については実施をしていない。平沼田地区で平成23年に電気柵3,100メートルを設置しているが、耐用年数が8年となっており、実情を把握し単市事業等の検討を考えている。
----	--